KOKU TOCHI
KOKUGAKUIN UNIVERSITY TOCHIGI Jr. HIGH SCHOOL

SCHOOL GUIDE 2023

Challenge!

國學院大學栃木中学校

次世代のリーダーとなるために

建学の精神

本校は、國學院大學の附属校であり、國學院大學の建学の精神がすなわち本校の建学の精神です。その精神とは、「日本の文化や伝統・歴史を研究し、日本人としての良識や道徳心を養い育て、立派な日本人として生きていく」ことです。これを具体的に表したものが「たくましく　直く　明るく　さわやかに」の校訓です。これが本校の目指している人間像なのです。

求められる力

今、世の中はさらにグローバル化やIT化が進み、「不測の時代」と言われています。その時代を生きていくために求められる力とは、思考力、判断力、表現力であると言われています。そのため、本校でも、授業においてアクティブラーニング、探究学習、ICT教育を推し進め、その対策に余念がありません。特に授業や個人学習そして調べ学習・プレゼンテーションなどにiPadを使用し、より発展的な「学び」を行っています。しかし、同時に、必死になってものを覚え、さまざまな知識を身につけることによってこそ、その土台を築けることも、また事実です。校内を見てみると、生徒たちの中には、朝、始業前に自学学習、また、放課後は教員に質問をしたり、個別指導を受けている様子もよく見られます。主体的にこつこつと努力することによってこそ、人は大きく成長し、夢は叶えられるのです。

感動ある生活を

人は心動かし、そして一歩踏み出す行動をとるのは、「やったー」というような感動を味わった時です。それは、海外研修、文化祭、体育祭などの学校行事や生徒会活動、部活動に全力で取り組んでいった時にも生まれるものです。そのため学校は、さまざまな場・機会を提供します。志を同じくした仲間と共に頑張って何かを成し遂げた時、その達成感は素晴らしいものとなり、本当の喜び、感動が味わえます。学習は元よりすべてのことに頑張る学校、それが本校です。

次世代リーダーを育てる学び。

人としての基本

私が校内を歩いていると生徒たちから必ずと言ってよいほど、「おはようございます」「こんにちは」という挨拶をもらいます。こうした当たり前の挨拶や礼儀・作法は人と人とがつながっていく社会においてとても重要なことです。まずは、しっかりと挨拶をすることから始め、人としての品性を備えた人になってください。そうした人としての基本ができてこそ学力も活きるものであると私たちは信じています。

可能性に挑戦

本校は、創立以来、「鍛える教育」を掲げています。特に「頭・心・体」の三つの力をバランス良く鍛えることを大切にしてきました。それは、皆さんには無限の可能性があることを信じているからなのです。自分をどう鍛えるかによって、何にでもなれます。そして、どのような人生でも歩んでいけます。皆さんが、自らの可能性に挑戦し、自分の持っている力を発揮させ、世の中に貢献する次世代のリーダーへと成長していってくれることを望んでいます。

青木 一男 学校長

國學院栃木で見つけた

見つけた! 行事から向き合える自分の将来!

中学3年　生徒会本部書記　富澤 夏蓮さん
栃木市立家中小卒

國栃中で経験する多くの行事は初めてのことばかりです。そして将来のことを考えるヒントを得ることができます。私の将来の夢は警察官になることです。國栃中に入ってからその夢と真剣に向き合い、どうすれば夢の実現ができるか、そのために必要な力は何かを考えられるようになりました。多くの行事から得られる知識で夢を実現します。

見つけた! 生徒や先生から多くを学べる学校!

中学2年　生徒会本部書記　遠藤　優心さん
春日部市立小渕小卒

國栃中では高校から来た先生方もいるので普通は教えてもらえないような新しい知識が身につきます。やる気があって将来の夢についてもしっかりと考えている友達が多いので、良い刺激があり、影響を受けて考えることが多いので、将来への選択肢が増えました。生徒会でも先輩方の姿を見て学ぶことが多くあります。

見つけた! 専門分野をもった先生方の宝庫!

中学3年　生徒会本部会計　金子 昌弘さん
栃木市立栃木第三小卒

将来の夢は医師として、病気で苦しんでいる人や辛い思いをしている人を助けられる人間になることです。海外でも活動できるようになりたいので、数学や理科だけでなく、英語や英会話の授業も頑張っています。國栃中にはさまざまな専門分野を持った先生がたくさんいらっしゃるので積極的に知識を得て、夢の実現に向けて努力し続けたいです。

見つけた! グローバル社会で活かせる英語が学べる!

中学2年　生徒会本部会計　小林 愛さん
足利市立毛野南小卒

國栃中には英語を学ぶ機会がたくさんあります。ボキャブラリーコンテストやイングリッシュスピーチコンテストで語彙力や表現力を身につけ、さらに、英会話の授業では、ネイティブの先生方と楽しく英語を学ぶことができます。これからのグローバル社会で活躍していくための英語を学べるのが、私たちの学校です。

My Dream 患者さんの心の支えになれる看護師になりたい

中学2年　小川 碧天さん
下野市立石橋北小卒

私の夢は患者さん一人ひとりに寄り添い、不安を安心に変えてあげられる看護師になることです。そのためにこの國栃中で今できることを精一杯やり、この夢を実現したいです。

My Dream 空間をクリエイトする建築士になりたい

中学3年　符 文媛さん
栃木市立大平中央小卒

幼い頃からインテリアや建築に興味がありました。将来は一番安心で居心地の良い空間をつくり、それぞれが理想とする家を設計できる建築士になるという夢に向かって頑張っています。

My Dream コロナ禍で活躍する医師にあこがれました

中学3年　吉田 翔海さん
小山市立大谷東小卒

コロナ禍で活躍する姿を見て、医師にあこがれました。國栃中は生徒の自主自律に力を入れているので、素早い判断力や行動力を身につけ、多くの人々を救う医師になりたいです。

こと

國學院栃木を卒業後、それぞれの世界でリーダーとして活躍する時が訪れることでしょう。
そのような未来で、それぞれの本校での6年間が心の支えとなるはずです。
一人ひとりがより良く生きるための、夢をかなえるための、社会に貢献するための「学び」がここにはあります。

見つけた! 「自分たちの学校」感がいっぱい!

中学3年　生徒会本部副会長　近藤 凜さん
栃木市立栃木中央小卒

生徒主体の学校生活が実現できる学校です。実際に、皆の意見を取り入れやすいようにデジタル目安箱を開設しました。コロナ禍ではありましたが、3年生を送る会で全校クイズ大会を企画し、中学校生活最後の楽しい思い出をプレゼントすることができました。生徒会本部での活動は自分自身の成長につながります。

見つけた! やりたいことが見つかる学校!

中学3年　生徒会本部会長　髙久 紫音さん
栃木市立栃木第五小卒

國栃中には行事や先生方の話を通して、「自分のやりたいこと」に気づき、それに向かって努力するチャンスがたくさん設けられています。私は、英会話の授業でネイティブの先生から聞いた話から、異文化に対する興味がわきました。将来の夢は異文化のかけ橋になれる通訳や外交官になることです。

見つけた! 自分の未来をつかみとれる場所!

中学2年　生徒会本部副会長　鳥羽山 志さん
加須市立大利根東小卒

國栃中では、さまざまな行事を経験できます。特にイングリッシュスピーチコンテストには大きな思い出があります。うれしい気持ちや悔しい気持ちを味わい、挑戦をするということの意味や責任感がどういうものなのかを知りました。ここで得た経験を活かして、さまざまな言語を活用し、グローバルに活躍できるパイロットになりたいです。

見つけた! 自分をレベルアップさせてくれる学校!

中学3年　生徒会本部副会長　平本 結心さん
栃木市立大平西小卒

國栃中は、自分をレベルアップさせてくれます。生徒会役員への道に導いてくださったのは先生方です。中心的な組織にいるというプレッシャーもありますが、今は生徒会に入っていることに誇りがあります。前年に続いて今回もその責任をになうことができて、とても光栄です。このチャンスを無駄にせず、さらに人間力をみがきたいです。

My Dream 医療現場で人の役に立ちたい

高校1年　舘野 愛依さん
小山市立豊田北小卒

医療の現場に立てる職業に就きたいです。私は多くの人に支えられて充実した日々を送ることができています。そのような方々への感謝の気持ちを忘れず、夢に向かって努力し続けます。

My Dream テクノロジー開発の研究者になりたい

高校2年　小林 亮脩さん
栃木市立栃木第五小卒

昔から理科実験が好きで、将来は日本のテクノロジー開発を支える研究者として社会貢献したいです。充実した設備がある國栃で、多くの知識を実際に体験して身につけます。

My Dream 海外で活躍する医師になりたい

高校3年　平田 竜都さん
宇都宮市立姿川第一小卒

本校での先生方の英語指導のおかげで、英語を使って国を問わず活躍する医師という自分の目標を見つけることができました。世界の医療水準の向上に貢献できる人になりたいです。

中高６か年一貫教育

世界を舞台に活躍できる次世代リーダーを育成

「キャリア教育」「英語教育」「理数教育」を教育の柱とし、「鍛える」教育を通して可能性にチャレンジする生徒を育てます。

中学校

Challenge1 キャリア教育

「人間関係形成能力」
「情報活用能力」
「意思決定能力」
「将来決定能力」
を身につける

▼ P06

1年

- 4月 生徒研修 P07
- 5月 自然体験学習・発表会 P11
- 6月 芸術鑑賞・発表会 P07
- 9月 文化祭・体育祭 P07
- 11月 校外学習・発表会 P06
- 12月 日本文化理解 P07
- 3月 先輩招待進路説明会 P07

2年

- 5月 自然体験学習・発表会 P11
- 6月 芸術鑑賞・発表会 P07
- 7月 職場体験 P07
- 9月 文化祭・体育祭 P07
- 9月 日本文化理解 P07
- 11月 校外学習・発表会 P06
- 1月 立志式 P07

社会に貢献するための自己実現

Challenge2 英語教育

英語を通して
自分の考えや主張を
「発信」できる人材を
育てる

▼ P08

〈通年〉
- 教科書「PROGRESS 21」 P09
- 英語検定 P08
- 英会話教室 P09
- ドイツ・アメリカ・東南アジア・韓国研修 P18～19

- 11月 校外学習・発表会 P06
- 12月 ボキャブラリーコンテスト P08
- 3月 イングリッシュスピーチコンテスト P09

〈通年〉
- 教科書「PROGRESS 21」
- 英語検定
- 英会話教室
- ドイツ・アメリカ・東南アジア・韓国研修

- 11月 校外学習・発表会 P06
- 12月 ボキャブラリーコンテスト P08
- 2月 イングリッシュスピーチコンテスト P09

異文化コミュニケーション

Challenge3 理数教育

「見て、聞いて、触れる」
ことでより深く考え
表現する力を養う

▼ P10

- 5月 自然体験学習・発表会 P11
- 7月 理科研究 P10
- 8月 科学の甲子園ジュニア P10

〈通年〉
- 2時限連続のさまざまな理科実験 P11
- 数学検定・理科検定 P11

- 5月 自然体験学習・発表会 P11
- 7月 理科研究 P10
- 8月 科学の甲子園ジュニア P10

〈通年〉
- 2時限連続のさまざまな理科実験
- 数学検定・理科検定

科学リテラシーの向上

3年

- 3月 先輩招待進路説明会 P07
- 5月 自然体験学習・発表会 P11
- 6月 芸術鑑賞・発表会 P07
- 6月 日本文化理解 P07
- 9月 文化祭・体育祭 P07
- 10月 高大連携授業・幼稚園訪問
- 11月 校外学習・発表会 P06
- 12月 税教室 P07

2月~3月
オーストラリアホームステイ語学研修 P18

〈通年〉
- 教科書「PROGRESS 21」
- 英語検定
- 英会話教室
- ドイツ・アメリカ・東南アジア・韓国研修

- 11月 校外学習・発表会 P06
- 12月 ボキャブラリーコンテスト P08

- 5月 自然体験学習・発表会 P11
- 7月 理科研究 P10

〈通年〉
- 2時限連続のさまざまな理科実験
- 数学検定・理科検定

次世代リーダー・進路実現

高等学校での学び

■学力向上　一人ひとりの可能性を最大限に引き出す

■キャリア教育　「なぜ学ぶのか」を考えさせ探究心を刺激する

■国際理解　国際舞台で日本の文化に誇りを持つ

■感動体験　豊かな人間性を育てる

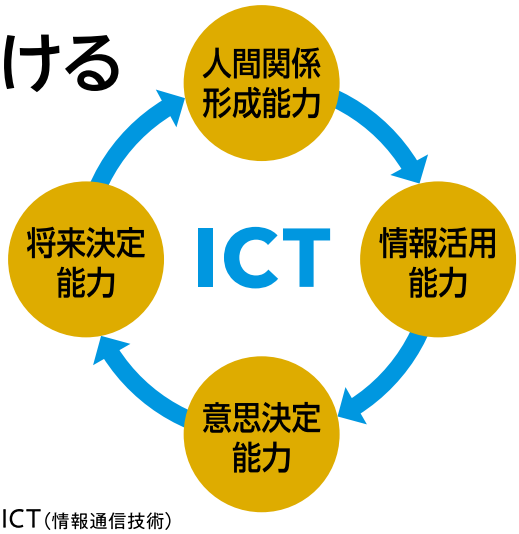
Challenge1

キャリア教育

社会に貢献するための
自己実現

ICT活用で4つの力を身につける

本校では6年間を通し、第1ステージ（中1・2）で「仲間を知る・自分を知る」、第2ステージ（中3・高1）で「自分を知る・社会を知る」、第3ステージ（高2・3）で「社会を知る・世界を知る」といったステップを踏みながら進路実現に向かいます。
その中で今、中高生に求められる4つの力である「人間関係形成能力」「情報活用能力」「意思決定能力」「将来決定能力」を身につけるために、本校ではさまざまな機会をとらえてICTをふんだんに活用しながら、探究的な学びを取り入れています。その中で自ら課題を発見し、仲間と協働しながら解決しようとする姿勢を養い、主体的な進路の選択・実現に導きます。本校では、将来「次世代リーダー」として活躍するために必要な学びが、さまざまな場面で展開されているのです。



ICT（情報通信技術）
Information and Communication Technology

行事の効果的な実施 → 主体的・能動的な進路の選択・実現 → 社会に貢献 → 次世代リーダー

思考力・発信力を育てる校外学習　～課題を見つけ協働で解決する～

体験型行事は①事前学習 ②現地での体験 ③事後学習のステップを踏むことで、より意義のある活動になります。例えば校外学習では、事前に見学地の調査やルートの検索を行うことで、現地ではスムースで、より内容の深い見学が可能となります。より深く見学できているので、事後学習でのまとめやプレゼンテーションの内容がさらに充実したものになります。本校ではここでもタブレットPCを活用し、検索や現地での記録、プレゼンテーション作成など、思考力・表現力の向上に役立てています。この他の校外行事でも同様に進め、英語でのプレゼンテーションを行うこともあります。

①事前学習

②現地での体験

③事後学習（プレゼンテーション）

生徒研修

本校での学習法や生活の基本を身につけ、6年間の学校生活の土台を作ります。

芸術鑑賞（能・狂言教室など）

本物を見ることで、豊かな感性を磨きます。

先輩招待進路説明会

進路実現を果たした卒業生や先輩の話を聞き、進路実現に活かします。

職場体験

働くことの意味、社会への貢献について考え、主体的な学びへと導く貴重な体験です。

税教室

公民の授業と連動し、税務署の方から実際の税の納め方、使われ方を学びます。

立志式

今までを振り返り、これからの人生を考える伝統行事です。保護者の前で将来の目標を語ります。

日本文化理解

茶道教室、校外学習、伝統楽器の体験、芸術鑑賞を通して世界へ日本文化を発信できる人材を育てます。

國學院祭（文化祭・体育祭）

学校全体を縦割りにして先輩後輩が協力しながら作品を作成します。合唱では各学年が工夫を凝らして行います。協働しながら組織として動く力を身につけます。3年生最後の公演が見ものです。体育祭でも中学独自の競技が見られます。仲間と共に汗を流す姿に拍手喝采です。

Challenge2

英語教育

異文化コミュニケーション

真のグローバル人材を育てる

グローバル社会を生きるために、コミュニケーションツールとしての「英語」をしっかり学ぶことは、とても大切なことです。しかし最も重要なのは自分の「考え」や「主張」、すなわちコミュニケーションの中身を作り出せるということです。そのためにはさまざまな知識や教養が必要です。すなわち多くの語彙を習得し、多岐にわたる話題や文化に精通することが必要なのです。ネイティブスピーカーによる充実した英会話の授業でスピーキング力を鍛えるとともに、他教科で学んだことやさまざまなテーマの英文を読むことなどから自己の考えを英語で発信できる力を養います。

教科書・課題・テストを通しての基礎・基本の徹底
単語・熟語・英文法習得、英検上位級取得

＋

4技能活用
①英会話 ②校内・校外スピーチコンテスト
③タブレットPC使用のライティング ④海外研修

英会話の授業、スピーチコンテスト、英検の面接練習や英作文添削などを通して国際社会で通用する自己表現力を身につけます。

学年・レベルに応じて体系的に学び、高い英語力をつける

ステージ	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
	「PROGRESS IN ENGLISH 21 BOOK 1、2」を用いて、基本的な語彙・文法を習得し、4技能の土台を築きます。またスピーチコンテスト等のイベントを通して、楽しみながら英語学習を進め、英検3級取得をめざします。	中学卒業時にオーストラリアホームステイ語学研修に参加し、13日間生徒一人でホームステイをします。3年間で培った英語力を試す集大成です。先取り教育のメリットを活かして、英検準2級～2級の取得をめざします。	現役合格をめざして、語彙・文法・構文の反復練習を繰り返すことで基礎力を高め、さまざまなジャンルの長文読解力や英作文力・リスニング力を身につけます。英語力の向上は大学合格にもつながります。

学年	中1	中2	中3	高1	高2	高3
国際感覚を養うプログラム	●オーストラリアホームステイ語学研修					
英語科目時間数（英語週6時間）	E-room（英検の指導のほか、自由に英会話を楽しめる教室）					
	英会話教室					
	ドイツ・アメリカ・東南アジア・韓国研修（希望者）				●台湾修学旅行	
	イングリッシュ スピーチコンテスト					
語彙	中学3年間で1,800語			大学受験期で5,000語		
英検	4級以上	英検3級	英検準2級	英検2級	英検2級	

3人の外国人専任講師

ハンス・リーントバー先生

デヴィン・ケルソウ先生

ジョージ・ファウラー先生

ボキャブラリーコンテスト

中学３年間で1,800語、大学受験期で5,000語の習得をめざします。

イングリッシュスピーチコンテスト

自分の意見を英語でスピーチするほか、スキットでは身体全体を使った英語表現に挑戦します。

昼休み英会話レッスン

オーストラリアホームステイ語学研修前にはネイティブの先生と昼食をとりながら、より積極的に英語で会話する姿勢を作ります。

教育センター英会話教室

初級・中級・上級の3段階に分けて、習熟度に応じた英会話教室が開かれています。

教科書「PROGRESS 21」

「PROGRESS 21」を用いた授業を中心に、「話す、聞く、読む、書く」の4技能を習得します。

ライティング指導

タブレットPCとプロジェクターを活用した英作文添削にも、積極的に取り組んでいます。

上級生の英検面接指導

ネイティブの先生や英検上級取得を果たした先輩から、面接上のアドバイスを受けることができます。

Challenge3

理数教育

科学リテラシーの向上

探究的な姿勢を育むために

探究に必要な「考える力」は、実験や観察などを通してさまざまな事象を実際に「見て、聞いて、触れる」ことで身につくものです。疑問を持ったり、想像力を働かせたりするのも本物に触れてこそ、より主体的なものとなるのです。日常の授業でも多くの実験を経験できる環境を整えていますが、さらに自然体験学習や博物館見学、数々の講演会といった学校行事においても科学リテラシーを向上させながら探究的な姿勢を身につけられる機会がたくさんあります。

実際の授業でも、ICTを活用することにより個々の能力に応じた問題や課題に取り組める環境が整っており、より積極的で充実した学びが展開されています。

幅広い知識を土台に、より深く考え表現する学習活動

さまざまな実験を通して観察・考察した研究を発表する場がたくさんあります。その経験が生徒の心を豊かにし、次のチャレンジへとつながります。

栃木県理科研究発表会
最優秀賞『建物を揺れにくくするためには?』
寺井健人さん

科学の甲子園ジュニアに出場して

中学3年　白久 雅弥さん
真岡市立長沼小卒

限られた知識と分析力、そして発想力の大切さを学びました。同時にこれからの自分がどのように生きていくべきなのか、仲間とどのように協力しながら物事を進めていくべきなのかを考えるようにもなりました。将来は豊かな発想力をもとに仲間と能力を活かしあえる、新時代に貢献できる人になりたいです。

活躍する先輩たち

本校で学んだ多くの先輩たちが医師として活躍しています。

自治医科大学 医学部医学科
五家 里栄さん
（3期生 久喜市立栗橋西小卒）

獨協医科大学 医学部医学科
千葉 矩史さん
（7期生 下野市立古山小卒）

新潟大学 医学部医学科
森本 美希さん
（12期生 栃木市立栃木中央小卒）

【医学部医学科合格実績】

金沢大学、新潟大学、佐賀大学、防衛医科大学校、自治医科大学、東京医科大学、日本医科大学、日本大学、獨協医科大学、東京女子医科大学、東海大学、東京慈恵会医科大学、帝京大学、聖マリアンナ医科大学、埼玉医科大学
など

Promoting science literacy!
深く楽しく学び考える科学

自然体験学習

赤城・那須甲子・奥日光・尾瀬などで自然を体感しながら探究学習に取り組みます。仲間と協働する中で、リーダーとしての資質も育みます。

タブレットPCによる振り返り

動画や写真データをもとに、実験や観察の振り返りを行い、論理的な考え方を養います。

学び合う数学演習

生徒が協働することで、新たな気づきや学びに目覚めます。

数学検定・理科検定

理数学習について客観的な視点から実力をはかるとともに、技能や学習方法の向上をめざします。

さまざまな理科実験

2時限連続の実験で考察まで行います。

【化学電池の実験】

【ブタの腎臓の解剖】

【気体の発生】

【地層の観察】

【化合物の分解】

【地層の中の化石の調査】

学力向上プログラム

学び合う授業

生徒が互いに刺激し合い協働して問題に取り組むことで、より多くの知識を習得し、理解を深められる授業を行います。問題を出し合ったり、得意なことを教え合ったり、試験の予想問題を出し合ったりと、さまざまな方法をとっていますが、これによって教員が教え込む以上の効果を上げています。

習熟度別授業

「わかるまで学習する」ことと「より力をつける」ために、定期試験などで到達レベルを確認し、その都度、習熟度別編成を行って、全員ができるようになるまで効果的な指導を行います。編成は1年生の1学期より始め、高校でも同様に行われています。

自学自習の徹底

中学校・高校とも職員室の内外、さらに栃木駅前教育センターに自習スペース・自習コーナーを設けて、生徒の質問にいつでも答えられるようにしています。これらの学習の様子は中学校では生活日誌の「あすなろ」、高校では「自学自習の記録」に記録され、担任の指導に役立っています。

サマースクール 長期休暇講習

夏期休暇中に2泊3日で行われるサマースクールのほか、長期休暇にはそれぞれ特別講習が行われ、5教科での補強プログラム、上位者対象の強化プログラムに取り組みます。高校1・2年生は国語・数学・英語を中心とした基礎力・実力養成、3年生は大学入試問題を主とした演習形式での各教科の講座が開かれます。

先取り教育～学力向上に向けて～

高い実力をつけて次のステージへ

先取り教育によって、国語・数学・英語・理科では中学3年生で高校の領域に入り、高い実力をつけて高校生活をスタートします。6年間一貫教育の大きなアドバンテージはここにあります。これによって高校3年次には大学受験の準備に専念でき、毎年国公立大学や難関私立大学に生徒が現役で合格しているのです。また、努力を重ねる生徒のそばには教員が常に寄り添い、見守り、学力から日常生活まで把握して、一人ひとりの学力向上を助けます。

上位者指導 ～難関大学現役合格力の向上～

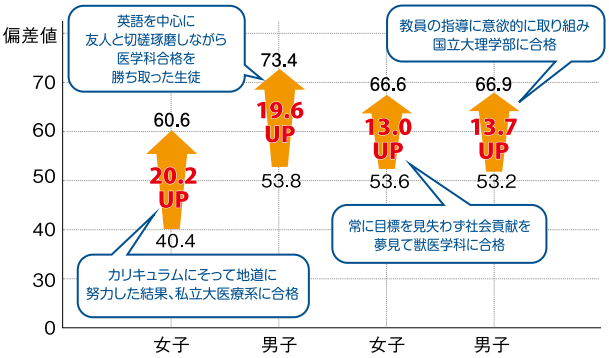
上位者には基礎力定着の確認のために標準レベル問題、応用力養成のために上級レベル問題を特別に取り組ませ、特に高校レベル問題などの個人添削を行って実力の錬成をねらいます。これは高校でも継続され、難関国公立・私立大学および医歯薬獣医系学部をターゲットにした講習が行われます。ハイレベルな雰囲気の中で切磋琢磨し、合格力はさらに上がります。

■上位者指導の一例　中学2年数学

中学全国レベル模試、高校1年I・Aの青チャートの添削指導など

進路実現の意思 × 学力向上プログラム ＝ 現役合格力の向上

■中学1年から高校3年までの成績上昇の理由



栃木駅前教育センターでの自習

中高6年間一貫コースのカリキュラム（現行）

STAGE 1　これからの「学び」に必要な観察・探究力、問題発見能力、論理的思考力、コミュニケーション・プレゼンテーション能力、理数系能力の5つの能力をバランスよく育成し、基礎学力を完成する。　**STAGE 2**

	中1	中2	中3
目 標	〈基礎学力の完成〉中学の学習内容・基礎学力養成期		〈進路意識の確立〉
国 語	中１国語	中2国語　古典(高校)	中3国語　古典(高校)
数 学	中1数学　1次不等式(高校)	中2数学	中3数学　中学総復習
英 語※1	中1英語＋英会話	中2英語＋英会話	中3英語＋英会話　論理・表現Ⅰ
理 科	中1理科	中2理科　恒常性(高校)	中3理科　生態系(高校)
社 会	中学地理	中学歴史	中学公民
上位者指導	習熟度別クラス・上級レベル特別課題・個人添削		

※1：高校1年ではネイティブとのティームティーチングがあります。

主要5教科指導のPOINT

国語

読解力・思考力・表現力の向上を

現代から古典に至るさまざまなジャンルの文章を読み、論理展開や心情の微妙な変化を整理しながら、正確な読解力とあらゆる場面に対応できる思考力を高め、工夫のある豊かな表現力を養います。そのため授業では漢字や語句、文法等の習得を徹底して行い、読解の基礎となる語彙を適切に活用できるようにします。また、グループでの学習を通して、意見を交換、評価し合うことで、個々の物の見方や考え方の幅を広げていきます。

数学

論理的に「考える力」「表現する力」

実生活にひそむ数学の活用に目を向け、「なぜそうなるの?」という疑問から、数学への関心が生まれます。それが「知りたい!」というエネルギーに変わります。本校の授業では、思考力・読解力・計算力など幅広い観点から、問題解決に向けて徹底的に「考える力」を育てています。また、グループ活動を通して学び合いながら、的確かつ簡潔に自分の考えを伝える「表現する力」も大切にして、数学の総合的な学力向上を目標にしています。

英語

4技能の習得こそ大切なスキル

これからの社会において、英語はコミュニケーションツールとして一層重要な役割を果たします。「話す、聞く、読む、書く」の4技能の習得が不可欠であり、本校ではこれらの力をバランス良く身につける授業を行っています。少人数制の英会話授業を毎週1時間設けて、特に「話す、聞く」の活動を積極的に取り入れています。また、自分の生活について日記をつけたり、環境などの時事問題に関する自己の考えを英語で書き、発表に挑戦するなど、自己発信型の人材育成をめざしています。

理科

自ら探究し表現できる人に

自然の中で見られる生物や物質、現象を観察していく中で、疑問を持つことを大切にします。その疑問をどのように解決するのかを、グループで意見を出し合って考え、実験の結果をまとめて、そこからどんなことがわかるのかを発表します。このような探究実験を繰り返し、主体的で見通しを持った観察・実験の方法を習得し、科学的に考察する力を養っていきます。

社会

考える力を育てるために

中学校で学びは「知識」の蓄積から「考える力」を育てることに向かっています。社会科では、生徒が授業で得た「知識」をもとに、「なぜこの出来事がこの時代に起きたのか」「この出来事がその後の社会にどのような影響を与えたのか」といった課題に対して、自分たちの答えを見つけることを大きな目標にしています。

令和4年度 教育課程表(中学校)

(授業時数)

教科＼学年	1年	2年	3年	合計	一般公立中学校
国語	5	5	5	**15**	11
社会	3	3	4	**10**	10
数学	6	6	6	**18**	11
理科	5	5	5	**15**	11
音楽	1.3	1	1	**3.3**	3.3
美術	1.3	1	1	**3.3**	3.3
保健体育	3	3	3	**9**	9
技術家庭	2	2	1	**5**	5
外国語	6	6	6	**18**	12
道徳	1	1	1	**3**	3
特別活動	1	1	1	**3**	3
総合的な学習	1.4	2	2	**5.4**	5.4
合計	36	36	36	**108(本校)**	87(一般公立)

令和4年度 教育課程表(高等学校)

※主要教科のみ掲載

教科	科目	標準単位	1年	2年 理	2年 文	3年 理	3年 文
国語	現代の国語	2	2				
	言語文化	2	3				
	論理国語	4		2	3	2	3
	古典探究	4		2	3	2	3
地理・歴史	地理総合	2	2				
	歴史総合	2	2				
	地理探究	3		(3)	(3)	(2)	(2)
	日本史探究	3		(3)	(3)	(2)	(2)
	世界史探究	3		(3)	(3)	(2)	(2)
	地歴演習	–				(2)	3
公民	公共	2		2	2		
	倫理	2					(3)
	政治・経済	2					(3)
	倫理演習	–					
数学	数学Ⅰ	3	4				
	数学A	2	2				
	数学Ⅱ	4		4	4		
	数学B	2		2	2		
	数学Ⅲ	3				(4)	
	数学C	2				(3)	
	数学演習	–				(7)	5
理科	物理基礎	2	2				
	物理	4		(3)		(3)	
	化学基礎	2		3	(3)		
	化学	4				5	
	生物基礎	2	2				
	生物	4		(3)		(3)	
	地学基礎	2			(3)		
	理科演習	–					3
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	4				
	論理・表現Ⅰ	2	2				
	英語コミュニケーションⅡ	4		4	4		
	論理・表現Ⅱ	2		2	2		
	英語コミュニケーションⅢ	4				4	4
	論理・表現Ⅲ	2				2	2
	計		25	27	26	27	28

考え方や生き方、社会問題にも目を向け、主体的な思考力・行動力を養うことで自主自立への転換をはかる。本格的に進路研究を開始して、理系・文系の適性を意識しながら、進路意識を育む。

STAGE 3

社会に貢献する将来像を描きながら、理系・文系を選択する。受験に直結した学力向上プログラムにより難関大学に向けて、現役合格力の完成をはかる。

	高1	高2	高3
	高校の学習内容・応用力発展期	〈現役合格力の完成〉現役合格力の完成・実戦力錬成期	

<table>
<tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">現代の国語</td><td colspan="2">論理国語</td><td colspan="2" rowspan="2">大学入試問題演習</td></tr>
<tr><td colspan="2">言語文化</td><td colspan="2">古典探究</td></tr>
<tr><td rowspan="2">数学Ⅰ</td><td rowspan="2">数学Ⅰ＋数学A</td><td rowspan="2">数学Ⅱ＋数学B</td><td>理系</td><td>数学Ⅲ＋数学C</td><td>大学入試問題演習</td></tr>
<tr><td>文系</td><td colspan="2">大学入試問題演習</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">英語コミュニケーションⅠ</td><td colspan="2">英語コミュニケーションⅡ</td><td colspan="2" rowspan="2">英語コミュニケーションⅢ
大学入試問題演習</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="2">論理・表現Ⅱ</td><td colspan="2">論理・表現Ⅲ</td></tr>
<tr><td colspan="3" rowspan="2">物理基礎＋生物基礎</td><td>理系</td><td colspan="2">化学基礎・化学＋物理or生物</td><td>大学入試問題演習</td></tr>
<tr><td>文系</td><td colspan="2">化学基礎or地学基礎</td><td>大学入試問題演習</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2" rowspan="2">地理総合＋歴史総合</td><td>理系</td><td colspan="2">地理探究or日本史探究or世界史探究＋公共</td><td>地理探究or日本史探究or世界史探究</td><td>大学入試問題演習</td></tr>
<tr><td>文系</td><td colspan="2">地理探究or日本史探究or世界史探究＋公共</td><td>地理探究or日本史探究or世界史探究＋倫理or政経</td><td>大学入試問題演習</td></tr>
</table>

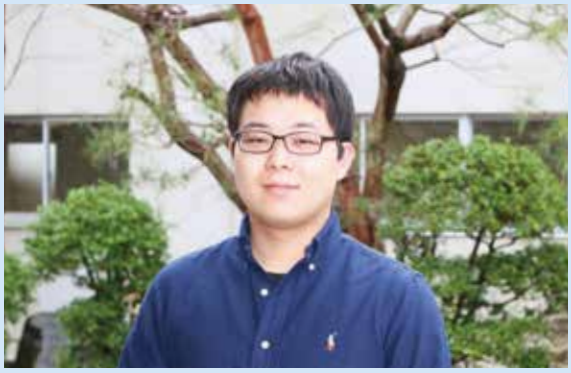
6年間の思い出をつづって

中高一貫卒業生(令和3年度)からのメッセージ

獨協医科大学

医学部 医学科

寺井 健人さん(栃木市立栃木中央小卒)



中学校、高等学校の6年間、学習面において手厚くサポートしていただきました。習熟度別授業に加えて、成績上位者を集めた指導プロジェクトでは難関大学入試問題演習に添削指導、そして高い学力レベルを持つ仲間たちとの切磋琢磨によって、学力を大きく伸ばすことができました。厳しい戦いである大学受験ですが、國栃で6年間学べば必ず道は拓けます。中学校での能、狂言などの芸術鑑賞やオーストラリア、ドイツをはじめとする国際研修など普通ならば経験のできない行事を通して比較文化論的な社会の見方や、これからの人材に必要な人間力について考えられたのも大きな収穫でした。

埼玉大学

理学部 物理学科

佐藤 瑞己さん(久喜市立久喜北小卒)

コロナ禍で厳しい環境においても受験期を級友皆がお互いに励まし合って乗り切ることができました。大学合格は6年間を共に過ごした成果です。部活動も制限の中、工夫を凝らしてさかんに行われていました。私は天文部に所属し、自動で流星を観測する手法の確立に取り組み毎年校外で研究結果を発表することができました。この時に役に立ったのが中学校で活用していたiPadです。情報を交換、共有することで発想がふくらみ、プレゼンテーションに活かしていく過程が天文部での発表にどんなに役に立ったことか。論理的な思考力を高める上でも中学校での経験が天文部での活動そして将来の目標につながりました。

東京女子大学

現代教養学部 心理・コミュニケーション学科

生沼 愛美さん(板倉町立板倉東小卒)

自分にそれほど自信がなかった私が、オーストラリアホームステイ語学研修での成功体験によって自信という力を新たに得て、まずは動いてみよう、挑戦してみようという考え方を持てたことは本当に良かったです。このような自分自身の心の変化を体験したことも大学で心理学を学ぼうとする考えにもつながりました。誰もが心に持っている花を咲かせることができるのだと思えるようになった華道部での活動も良い思い出です。教育環境、自然、そして仲間に恵まれた6年間は私の青春そのもので、國栃を卒業できたことは、感謝の気持ちでいっぱいです。

國學院大學

法学部 法律学科

黒川 大輔さん(栃木市立合戦場小卒)

6年間、なぎなたと学業の両立に励みました。なぎなたでは全国大会で個人3位に入賞し、学業にも根気よく取り組んで部活動との両立を果たせました。行事ではオーストラリアホームステイ語学研修、文化祭での合唱に強い印象が残っていて、いずれも達成感でいっぱいになりました。担任の先生方にも恵まれ、中学時には言葉遣いや礼儀、最後まであきらめない気持ちを学びました。高校時には世界史を学ぶ楽しさを感じさせてくれた先生、さまざまな話題で語りかけてくれる先生にめぐりあいました。中高一貫コースならではの多くの行事、体験と個性的な先生方の中で、人として成長することができました。

大学合格実績

大学進学に信頼の実績

予習・授業・復習といった学習サイクルと夢の実現に向かう意思を早期に確立し、
大学入試に対する実戦力を身につけることが「先取り教育」の最大のメリットです。

国公立大学

東京大学
大阪大学
九州大学
東北大学
北海道大学
金沢大学(医医)
新潟大学(医医)
佐賀大学(医医)
東京工業大学
東京農工大学
お茶の水女子大学
筑波大学
東京外国語大学
東京学芸大学

電気通信大学
横浜国立大学
神戸大学
千葉大学
広島大学
静岡大学
富山大学(薬)
奈良女子大学
埼玉大学
宇都宮大学
群馬大学
茨城大学
山梨大学
信州大学

弘前大学
秋田大学
山形大学
岩手大学
福島大学
大阪教育大学
鹿児島大学

東京都立大学
横浜市立大学
国際教養大学
高崎経済大学
群馬県立女子大学
前橋工科大学

都留文科大学
埼玉県立大学
福島県立医科大学
静岡県立大学
神戸市立外国語大学
愛知県立大学
兵庫県立大学

防衛医科大学校(医医)
防衛大学校
航空保安大学校
海上保安大学校
など

大学進学バックアップ体制

第1・3・5土曜日に授業を行うほか、放課後や長期休暇中に特別講習を実施することで学習時間を確保しています。また、栃木駅前の学園教育センターでは、生徒が下校後の時間を有効活用し、自学自習に励んでいます。さらに高校の進学指導室を積極的に利用した進路探究では、担当の教員から的確なアドバイスを受けることができます。

私立大学

早稲田大学
慶應義塾大学
上智大学
東京理科大学(理・理工・薬)
学習院大学
明治大学
青山学院大学
立教大学
中央大学
法政大学

東京医科大学(医医)
日本医科大学(医医)
日本大学(医医)
獨協医科大学(医医)
自治医科大学(医医)
東海大学(医医)
東京女子医科大学(医医)
東京慈恵会医科大学(医医)
聖マリアンナ医科大学(医医)
杏林大学(医医)

埼玉医科大学(医医)
金沢医科大学(医医)
北里大学(医医・獣医)
帝京大学(医医・薬)
昭和大学(医医・歯・薬)
鶴見大学(歯)
岩手医科大学(医医・歯・薬)
東京薬科大学(薬)
明治薬科大学(薬)
昭和薬科大学(薬)

星薬科大学(薬)
東邦大学(薬)
共立薬科大学(薬)
国際医療福祉大学(薬)
成蹊大学
成城大学
獨協大学
明治学院大学
武蔵大学
神奈川大学

関西学院大学
同志社大学
立命館大学
関西外語大学
芝浦工業大学
東京都市大学
工学院大学
東京電機大学
順天堂大学
津田塾大学

東京女子大学
日本女子大学
聖心女子大学
学習院女子大学
女子栄養大学
フェリス女子大学
東洋大学
駒澤大学
専修大学
日本大学
など

国公立大学
113名合格

早慶上理 G-MARCH・関関同立
128名合格

医歯薬獣医系
59名合格

國學院大學
42名合格

※数字は過去10年間

入学者出身小学校

【栃木県】
栃木市栃木中央/栃木第三/栃木第四/栃木第五/南/大宮南/大宮北/吹上/千塚/皆川城東/寺尾/国府南/国府北/合戦場/家中/赤津/大平東/大平南/大平西/大平中央/藤岡/部屋/赤麻/ 三鴨/西方/真名子/静和/小野寺南/小野寺北/岩舟 **壬生町**壬生/壬生東/睦/稲葉/壬生北/安塚 **下野市**石橋/古山/国分寺/国分寺西/国分寺東/吉田西/祇園/緑 **野木町**友沼/野木/佐川野/南赤塚/新橋 **小山市**小山第一/小山第二/小山第三/小山城南/旭/小山城北/若木/小山城東/大谷東/大谷北/間々田/乙女/網戸/豊田南/豊田北/穂積/中/羽川/羽川西/絹義務教育/萱橋/東城南 **佐野市**佐野/天明/植野/界/犬伏/城北/葛生/田沼/吉水/多田/石塚 **足利市**桜/毛野南/山辺/御厨/青葉/葉鹿 **宇都宮市**中央/東/西/西原/昭和/泉が丘/緑が丘/御幸/明保/宝木/平石北/豊郷中央/雀宮東/御幸が原/五代/姿川中央/姿川第一/新田/上戸祭/宮の原/陽南/富士見/桜 **鹿沼市**中央/東/西 /北/菊沢東/津田/さつきが丘/みどりが丘/北押原/加園/西大芦/南摩/上南摩/楡木/永野/清洲第一 **上三川町**上三川/明治南/明治 **日光市**今市/今市第二/今市第三/南原/落合東/落合西/小百/大沢/大室/猪倉/日光/野口/中宮祠/小来川/安良沢/鬼怒川/下原/大桑/足尾 **益子町**七井 **真岡市**久下田/亀山/長沼 **那須烏山市**境 **那須塩原市**波立/高林/大原間 **高根沢町**阿久津 **矢板市**豊田

【埼玉県】
さいたま市岩槻/大宮西/美園/大谷 **春日部市**内牧/粕壁/緑/武里/備後/正善/幸松/武里西/上沖/立野/藤塚/小渕/桜川/南桜井 **加須市** 加須/三俣/水深/花崎北/北川辺西/北川辺東/大利根/大利根東/礼羽 **羽生市**須影/手子林 **越谷市**越ヶ谷/桜井/桜井南/出羽/新方/大袋北/蒲生第二/明正/花田/平方/弥栄/城ノ上/大相模 **草加市**草加/松原/西町/八幡/新栄 **久喜市** 久喜/久喜東/本町/青葉/青毛/久喜北/栗橋/栗橋西/栗橋南/桜田/ 砂原/上内/東鷲宮/太田 **蓮田市**蓮田北/蓮田南/黒浜 **幸手市**幸手/行幸/上高野/権現堂川/八代/さくら/吉田/長倉 **宮代町**百間/笠原/須賀 **白岡市**菁莪/南/西 **杉戸町**杉戸/杉戸第二/西/高野台/泉 **吉川市**北谷 **松伏町**松伏

【茨城県】
古河市古河第一/古河第二/古河第三/古河第四/古河第六/古河第七/下辺見/上大野/小堤/中央/水海/八俣/諸川/名崎/大和田/駒込/西牛谷 **筑西市**下館/川島/養蚕/五所/新治/関城西/関城東/大村/大田/小栗 **結城市** 結城/結城西/城南/絹川/江川南/山川/上山川/城西 **桜川市**谷貝/岩瀬/羽黒 **境町**境/静 **五霞町**五霞西/ 五霞東 **八千代町**西豊田 **下妻市**大宝

【群馬県】
板倉町西/東/南/北 **館林市**第一/第二/第四/第五/第九/第十 **桐生市**新里東 **伊勢崎市**宮郷第二 **前橋市**桃井

【千葉県】
野田市川間/木間ヶ瀬/二川/尾崎

【東京都】
目黒区東山 **足立区**鹿浜第一 **杉並区**浜田山/方南 **中央区**日本橋

【海外】
タイ泰日協会学校 **中国**上海日本人学校 **韓国**ソウル日本人学校 **アメリカ**ケンタッキー現地校

学校行事

心に残る6年間

■中学生の行事　■高校生の行事

	4 April	5 May	6 June	7 July	8 August	9 September
中学生	・入学式 ・1学期始業式 ・太平山神社参拝 ・課題試験 ・第1回学力推移調査 ・3年全国学力学習状況調査 ・1年生徒研修 ・生徒総会 ・情報モラル講演会 ・避難訓練（地震対策）	・授業参観 ・父母懇談会 ・1学期中間試験 ・避難訓練（不審者対策） ・自然体験学習	・芸術鑑賞	・1学期期末試験 ・三者面談 ・1学期終業式 ・前期夏期講習 ・サマースクール ・一日体験学習 Come on in 国学院	・後期夏期講習 ・2年職場体験 ・2学期始業式 ・第2回学力推移調査 ・ドイツ・アメリカ・韓国国際研修	・國學院祭（文化祭・体育祭） ・第1回校内実力試験
高校生	・入学式 ・1学期始業式 ・太平山神社参拝 ・1年生徒研修	・授業参観 ・父母懇談会 ・1学期中間試験 ・1年情報モラル講演会 ・校内競技大会	・生徒総会 ・2・3年芸術鑑賞 ・3年第1回校内模試 ・GTEC ・第1回進路希望調査 ・2・3年大学出張講義	・1学期期末試験 ・三者面談 ・1学期終業式 ・前期夏期講習	・後期夏期講習 ・サマースクール ・3年先輩招待進路説明会 ・2学期始業式 ・3年第2回校内模試 ・ドイツ・アメリカ・韓国国際研修	・國學院祭（文化祭・体育祭） ・3年第1回国大模試 ・3年第2回国大模試

入学式

太平山神社参拝

サマースクール

ドイツ国際研修

情報モラル講演会

10 October	11 November	12 December	1 January	2 February	3 March
・創立記念講演会 ・創立記念式典 ・授業参観 ・父母懇談会 ・2学期中間試験 ・生徒会役員立ち会い演説会・選挙	・校外学習 ・全校マラソン大会	・2学期期末試験 ・3年税教室 ・ボキャブラリーコンテスト ・2学期終業式 ・冬期講習 ・三者面談 ・東南アジア国際研修	・3学期始業式 ・百人一首カルタ大会 ・2年立志式 ・第3回学力推移調査	・1・2年イングリッシュスピーチコンテスト ・3年オーストラリアホームステイ語学研修	・3学期期末試験 ・卒業式 ・3学期終業式 ・先輩招待進路説明会 ・春期講習
・創立記念講演会 ・創立記念式典 ・2学期中間試験 ・人権教育	・生徒会役員立ち会い演説会・選挙 ・全校マラソン大会 ・2年探究学習発表会 ・第2回進路希望調査	・2学期期末試験 ・GTEC ・1年キャリア講演会 ・三者面談 ・2学期終業式 ・冬期講習 ・東南アジア国際研修	・3学期始業式 ・1・2年校内実力試験 ・1年百人一首カルタ大会 ・2年探究学習発表会	・1年探究学習発表会 ・予餞会	・卒業式 ・3学期期末試験 ・2年台湾修学旅行 ・3学期終業式 ・春期講習

生徒総会

Come on in 国学院

創立記念講演会

百人一首カルタ大会

卒業式

海外語学研修

豊富な海外経験を国栃中で

オーストラリアホームステイ語学研修
（3年 全員必修 15日間）

令和元年度のオーストラリアホームステイ語学研修は、オーストラリア東部にある第3の都市ブリスベン近郊のオーモウで令和2年2月24日（月）から3月9日（月）の15日間で行われました。うち13日間はホストファミリー宅に生徒一人ずつがホームステイを行い、リビングストン・クリスチャン・カレッジ（LCC）で英会話力を磨きました。ホームステイ中はホストファミリーとハイキングやBBQパーティー、観光など豊かで楽しい時間を過ごしました。LCCでは英会話のほか、英語によるプレゼンテーション、日本文化と先住民アボリジニ文化の交流、大学や博物館、美術館、動物園などブリスベン市内の見学・観光など盛りだくさんのアクティビティが用意されており、どの場面でも思い出に残ることばかりです。多くの思い出とともに、全員が無事に帰国しました。大きく成長した生徒は帰国後、卒業式を迎え、そして高校に進学します。

Student Interview
体験談

高校3年
山田 壮さん
越谷市立平方小卒

オーストラリアホームステイ語学研修体験談

ホームステイでの2週間で、言葉にとまどっても間違っても良いから積極的に伝えようとすることの大切さを実感しました。そのような私を受け入れてくれたファミリーに感謝しています。バディと授業を受けアボリジニ文化を体験して国や文化の違いを感じ、それを理解するために自分でさらに調べようとする気持ちも生まれました。感動の2週間が終わる日、ファミリーとの別れに思わず涙し、もう一度この地に来たい気持ちが高まりました。

ドイツ国際研修
（夏期休暇中 希望制 9日間）

本校は現地のマックス・プランク中等教育学校と交流協定を結んでいます。5日間のホームステイのほか、世界遺産の見学を通してヨーロッパの歴史と文化に触れます。

Student Interview
体験談

大学1年 戸張 怜さん
宇都宮市立宝木小卒

石やレンガで造られた歴史的建造物や教会のステンドグラス、絵画の迫力に圧倒されました。ドイツ人の子供たちの英語力の高さにも驚き、ホストファミリーのこまやかな心遣いが日本人に似ていました。

アメリカ語学研修
（夏期休暇中 希望制 14日間）

本校専任外国人講師デヴィン・ケルソウ先生のコーディネートのもと、トムソーヤの舞台でもあるアイオワ州で語学研修を行います。英会話レッスンとホームステイを中心に、歴史や自然を体験します。

Student Interview
体験談

大学2年 鈴木 麻友さん
栃木市立藤岡小卒

ホストファミリーとの会話で英語が伝わらず、ジェスチャーや表情を思いっきり使って考えていることや気持ちを伝えました。言葉を大切にすること、そしてコミュニケーションの持つ意味を改めて考えました。

台湾修学旅行
（高校2年生 全員必修 5日間）

中学3年次のオーストラリアでの研修を受けて、高校2年次の修学旅行は、治安をはじめ政情や経済が安定し、親日の台湾で行います。アジアの隣人との英語を用いた交流を通して、世界における日本の役割を考えます。この5日間でさらにグローバルな視野が養われ、時代が求める力が備わります。

東南アジア国際研修
（冬期休暇中 希望制 5日間）

カンボジア・タイを訪れ、現地の寺子屋訪問、アンコール遺跡修復ボランティアなどの異文化交流を通して、アジアの中での日本の役割、そして世界の中で日本がどのように貢献すべきかを考えます。

Student Interview 体験談

高校1年 河合 諒斗さん
宇都宮市立陽南小卒

タイの寺子屋で学ぶ子供たちのほころぶ笑顔を見て、国や文化をこえて心から感動しました。そしてカンボジアの問題はSDGs（持続可能な開発目標）の視点から、世界全体で解決しなければならないことを考えさせられました。

韓国国際研修
（夏期休暇中 希望制 5日間）

韓国ソウルにある1939年創立の名門、漢陽大学校、漢陽女子大学校と提携、交流を深めてきました。ホームステイや現地学生との交流のほか、世界遺産などの名跡を訪れます。

Student Interview 体験談

高校3年 五月女 睿佳さん
結城市立城南小卒

大学校で韓国語の授業を受けたり、チマチョゴリを着て観光しました。食事は辛くても美味しいので、たくさん食べられました。現代だけではなく昔の韓国の生活や歴史についても深く学べたので、本当に素敵な経験になりました。

國栃生 1日のスケジュール

姉やいとこが本校に入学して楽しく学校生活を送っているのを見て、受験と入学を決めました。

中学1年　神谷 零さん
結城市立城南小卒

中学1年生男子の例

登校

自宅からの通学時間は1時間半。はじめは心配でしたが、学校生活が楽しいのですぐに慣れました。

朝活の時間

学習時間を確保し、部活動との両立を果たすために、早く登校して課題や予習を頑張ります。

朝のSHR

1日の予定や注意事項が伝えられます。スマートフォンや貴重品を担任に預けます。

授業

2時限目は国語の課題試験が返されました。思っていた以上に点数が良かったので安心しました。

昼食

平日は教室でお弁当を食べます。幕の内弁当やパンの注文も可能で、土曜日は学園食堂が利用できます。

授業

5時限目は英語の授業です。小学校よりレベルが高いですが、先生が優しく教えてくれるので大丈夫。

放課後

入学したてで各部活動を体験入部しています。今日は科学部で電気分解の実験を体験。すごい。

下校

中学校生活は始まったばかりですが、わくわくすることがいっぱいで、今日も充実した一日でした。

小学生の時に、いろいろな行事や説明会に参加して、この学校が一番良い学校と思って入学しました。

高校1年　山本 佳奈さん
日光市立大沢小卒

高校1年生女子の例

登校

自宅からの通学時間は1時間半。電車とバスを使います。今日も気持ち良く登校です。

早朝講習

中学生の時から早く登校して、課題や予習に取り組む習慣が身につきました。

朝のSHR

各大学の学部学科の偏差値や学費に関する情報誌が配られました。クラス全員が一斉にページをめくります。

授業

1時限目は世界史総合の授業です。この時間もタブレットPCが活躍して理解を深めてくれます。

昼食

毎日お弁当を作ってくれる家族に感謝です。その気持ちは夢の実現という形で表せるといいな。

授業

先取り教育によって6時限目の生物基礎の内容もスムーズに理解できます。もっと難しいことも勉強したいです。

放課後

先輩のような素敵な笑顔とかっこいいポーズにあこがれて、応援部に入りチアガールをめざします。

下校

中学校よりも忙しくなりそうですが、勉強と部活の両立を果たせるように明日も頑張ります。

生徒会活動

輝努挨楽で歴史を築け國栃中

スローガンである「輝努挨楽で歴史を築け」の通り、生徒が輝き、努力し、明るい挨拶ができる、楽しい学校生活をめざし、あいさつ運動やデジタル目安箱などの活動を行っています。

生徒会長
3年 髙久 紫音さん（栃木市立栃木第五小卒）

月ごとの保健目標の作成や健康診断の手伝いなど、皆が健康に勉強や生活ができるよう努めています。

保健委員長
3年 押山 理愛さん（栃木市立寺尾小卒）

清掃の時間は自問清掃を目標にして行い、生徒が良い環境で学習ができるように校内を整備することに努めています。

環境美化委員長
3年 大塚 優羽さん（結城市立結城西小卒）

体育委員は、各行事の際に皆をまとめ、授業時には整列や準備運動を行うなど、スムーズな運営に努めています。

体育委員長
3年 渡邉 優奈さん（栃木市立国府北小卒）

ホームルームの代表としてクラス内の意見をまとめて行事に役立て、より良い学校にするために月ごとに目標を立てて達成できるように呼びかけています。

ホームルーム委員長
3年 大沼 栞菜さん（筑西市立大田小卒）

「図書だより」を発行して、皆さんに読書の面白さや大切さを広めると同時に、国語力を高めるようにお手伝いします。

図書委員長
3年 松本 健太郎さん（壬生町立睦小卒）

部活動

- バスケットボール部
- サッカー部
- 柔道部
- 弓道部
- 体操競技部
- ラグビー部
- なぎなた部
- 剣道部
- 陸上競技部
- 卓球部
- テニス部
- ミュージカル部
- インターアクトクラブ
- 箏曲部
- 天文部
- 茶道部
- 写真部
- 華道部
- 美術部
- 書道部
- 英語部
- 科学部
- 吹奏楽部
- 応援部

本校には運動部・文化部の多くの部活動があります。

施設紹介

教育環境は「学びやすい施設」「教えやすい施設」「生活しやすい施設」の充実が重要です。本校では、常に最良の教育環境となるように施設の拡充・整備に努めてきました。この姿勢は今後も変わることなく、これからも教育環境の充実をはかっていきます。

ラグビーグラウンドが人工芝に整備され、ここでも体育活動を行います。

1 四十周年記念館
2 西二号館
3 西一号館
4 西三号館
5 思索の森
6 生徒会館
7 本館
8 駐車場（バスロータリー）
9 北館
10 図書館
11 睦会館（参考館）
12 南館
13 東館
14 **中学校校舎**
15 特別教育館
16 第二グラウンド
17 第一グラウンド
18 第二体育館
19 東テニスコート
20 好文寮
21 弓道場
22 多目的コート
23 錬成館（合宿所）
24 ハンドボールコート
25 ラグビーグラウンド
26 硬式野球場

中学校校舎

古代ギリシア・ローマの建築様式をモチーフにした校舎は、陽光を採り入れるための吹き抜けを設け、各種特別教室は広いスペースに豊富な機材を確保し、充分な学習環境が整えられています。各階のホールは集会や行事にも活用されています。

エントランスポーチ

図書室

ホール

音楽室

理科室

CAI室

共有施設

四十周年記念館

第一グラウンド

図書館

第二体育館

睦会館（参考館）

学園食堂

天文台（特別教育館）

國學院大學栃木学園教育センター

学園教育センターは、栃木駅北口から徒歩1分の位置にあり、生徒の自学自習のためのスペースとして利用できる施設です。自習フロアの他にも6つの講義室、250人収容の大講義室、330人収容のレクチャーホール、アートギャラリー、短歌資料室などの施設を備えています。さらに大きな地震が起きた場合も地盤の震動を建物に直接伝えない「免震構造」のため極めて安全性が高く、災害時には生徒の避難場所としても機能します。また全館冷暖房完備はもちろんのこと、1階は全面床暖房になっており、冬季は柔らかな暖かさに包まれます。

レクチャーホール

パソコンコーナー

自習フロア

アトリウム

日々の生活をしっかりサポート

災害時に生徒を守る！
学園全施設 免震構造、耐震補強済み

災害対策

生徒全員分の食料・水・防寒用品等を備蓄しています。また、年に2回の避難訓練（地震・不審者対策）を実施し、生徒の意識向上をはかっています。

セキュリティシステム

生徒の身分証明書にチップが内蔵されており、登下校時に学校や学園教育センターに設置されているリーダーにかざすことで、生徒の登下校情報をリアルタイムで保護者の携帯電話やパソコンにメール送信します。災害時などの緊急連絡にも使われます。

日々の生活をサポート

毎日提出する日誌「あすなろ」。一人ひとりの学習・生活状況を把握しながらホームルーム担任が丁寧なコメントを書いています。

Q&A（学校生活について）

Q.定期試験、実力試験は何回ですか。

A. 本校は中学校・高校ともに3学期制をとっており、原則1、2学期は2回、3学期は1回の定期試験を実施します。それに加え、全国規模の模擬試験を中学1年次から中学卒業までに計8回行うことで、大学進学を視野に入れた方策をとっています。それに加え、中学では校内実力試験や校外模擬試験、高校では特に3年次に年12回の校外模擬試験や2回の校内模擬試験が計画されています。

Q.通常授業のほかにどのような補習などがありますか。

A. 授業のほかに、放課後の特別講習を実施、各種テストの解説、問題演習、上位者指導を主要5教科で、水～金曜日に行います。「わかるまで学習する」ことと「より力をつける」ことがねらいです。高校では早朝講習、放課後講習が行われています。1、2年は主要3教科中心、3年生は理社も含めた内容です。また、成績上位者を対象に、超難関校合格を目標とする『KTベクトル』（國學院から東大へ）プロジェクトでさらに実力を磨きます。

Q.夏期・冬期・春期講習について教えてください。

A. 中学校・高校ともに、それぞれの長期休暇において5日間で実施されています。なお、夏期講習は前期と後期にそれぞれ5日間です。原則、主要5教科にわたります。高校でも同じ時期に行われ、1、2年は主要3教科、3年は全受験教科にわたり、大学入試問題演習を徹底的に行います。

Q.クラス編成について教えてください。

A. 原則として6年間は中高一貫クラスとして編成され、高校から入学する生徒とホームルームが一緒になることはありません。ただし、一部の教科や行事、部活動、特別講習などで共に学ぶことはあります。

Q.どのように探究型学習を行っていますか。

A. 中学校では、自然体験学習、校外学習などにおいて、教科と「総合的な学習の時間」をリンクさせながら、事前の研修や準備を行っています。普通教室ではタブレットPC、CAI室ではデスクトップPCを活用して調査を行い、現地での体験や見学を基に報告書やプレゼンテーションファイルにまとめて、事後報告会を行っています。

Q.通学方法について教えてください。

A. 東武・JR栃木駅から関東バスを利用して登校する生徒がほとんどです。登校時下校時とも直通バスがありますので利用してください。自宅からの通学生、および一部の部活動加入者には自転車通学を認めていますが、本校ではレンタルリース自転車を使用します。なお、登校時・下校時とも直通バスが随時出ています。

Q.登校時刻と下校時刻を教えてください。

A. 中学校では登校時刻は8:50です。多くの生徒が8:00前後に登校しています。登校後は朝の活動として自主的に読書や早朝学習などにあてる時間を設けています。下校時刻は部活動の時間を含めて18:00です。高校は早朝講習が行われ、下校は18:30です。最終バスは平日19:00、土曜日は18:06です。栃木駅前の教育センターは、中学生が19:00、高校生は20:30が退館時刻です。

Q.昼食はどのようにとりますか。

A. 中学校・高校ともに基本的にはお弁当持参です。ただし、お弁当やパンの注文も可能で、昼休みに届きます。また学園食堂がありますが、中学生が利用できるのは土曜日のみです。

Q.どのような生活指導が行われていますか。

A. 本校の校則は決して厳しいものではありません。日本人として、本校生徒としてふさわしい言動を生徒に求めています。また、挨拶やマナー、基本的な礼儀作法を身につけさせています。さらに生徒会を中心に、自分達でより良い学校にするために、どうするべきかを考え、行動させています。

Q.学校行事について教えてください。

A. P16～P17をご覧ください。
また本校ホームページでは最新の様子がご覧になれます。

Q.宿泊学習について教えてください。

A. 中学校・高校1年の生徒研修、中学全学年の自然体験学習と校外学習、中学校・高校全学年のサマースクール、中学3年のオーストラリアホームステイ語学研修、高校2年の台湾修学旅行、さらに希望者対象のドイツ・アメリカ・東南アジア・韓国での国際研修があげられます。いずれも綿密な計画を立てた充実のプログラムが用意されています。アレルギー対策も行い、食事に対しては充分な安全がはかられています。

Q.学校生活のことで個別に相談したい場合について教えてください。

A. 生徒が一番身近にいる担任に相談するなど方法はありますが、毎日担任と続ける交換日誌「あすなろ」を活用してください。また保護者からの相談も随時お受けしますので、遠慮なくご連絡ください。

Q.保護者との懇談はどのように実施されますか。

A. 生徒・保護者・担任による三者面談、クラスでの父母懇談会がそれぞれ年に2回実施されています。また、年に1度行われている地区別父母懇談会も情報交換の良い機会です。

Q.部活動の加入について教えてください。

A. 全校生徒の6割が部活動に加入しています。文化部や一部の運動部は高校生と共に活動しています。参加は希望制です。

Q.震災対策・緊急連絡体制はどうですか。

A. 校舎等施設はすべて耐震工事が完了し、対策済みです。また、災害用として水・食糧のほか携帯トイレ、防寒用シート（生徒購入分含む）、非常用発電機などを備蓄しています。また、中学校・高校ともに配信メールで、天候や災害による授業・行事等の有無や交通機関が大きく乱れた時の緊急連絡などを配信します。P23をご覧ください。

奨学生制度

学業成績の極めて優秀な者を対象とする奨学生制度があります。2年次以降は1年毎に学業成績および人物による審査を行い、資格を継続することができます。また、2年次以降に奨学生の資格が付与される制度もあります。

区分	奨学金として扱う学費
奨学生Ⅰ	入学金・授業料・施設費・維持費
奨学生Ⅱ	授業料

学費等納付金（令和4年度参考）

A 入学金・入会金	201,000円
内訳 入学金	180,000円
内訳 父母会入会金	1,000円
内訳 部活動後援会入会金	20,000円

B 通常納付金（月額）	33,800円
内訳 授業料	27,000円
内訳 維持費	5,000円
内訳 生徒会費	500円
内訳 父母会費	1,000円
内訳 部活動後援会費	300円

C その他納付金（年額）	194,000円
内訳 施設費	170,000円
内訳 図書費	4,000円
内訳 冷暖房費	10,000円
内訳 教育研究振興費	10,000円

A～C 初年度納付金（年額）	800,600円
2・3年次納付金（年額）	599,600円
D 預り金（年額）	339,900円
内訳 行事費	252,000円
内訳 補助教材費	87,900円

○行事費は、海外語学研修・校外学習等の費用を3か年均等割した金額です。○補助教材費は学年・年度によって若干の増減があります。

○國學院大學栃木高等学校への進学時の入学金は免除されます。○寄付金・学債等の徴収はありません。

令和5年度

生徒募集要項

ネット出願実施校
presented by mirai compass

インターネット出願

本校はインターネット出願を実施しています。

インターネット出願のメリット

■平日・土日・祝日24時間出願手続きが可能です。
■各種クレジットカード・コンビニエンスストア等でのお支払い方法が選べます。

※出願に際し、クレジットカード支払・コンビニ支払・ペイジー支払の場合、別途手数料がかかりますのであらかじめご了承ください。スマートフォン・タブレット端末でもご利用いただけます。

入学試験日	第1回入試 令和4年11月26日(土)	第2回入試 令和4年12月10日(土)	第3回入試 令和5年1月21日(土)
試験会場	國學院大學栃木学園教育センター(栃木駅前)		
入試の種類	・自己推薦入試(単願) ・一般入試(2科・4科 単願・併願)	・自己推薦入試(単願) ・一般入試(2科・4科 単願・併願) ・英語入試(単願・併願) ・適性検査入試(単願・併願)	・自己推薦入試(単願) ・一般入試(2科・4科 単願・併願)
募集人数	80名(男・女、第1回・第2回・第3回入試の合計募集人数です。)		
出願資格	令和5年3月小学校卒業見込みで、心身ともに健全な者。 本校が中高一貫6か年教育校であることに、保護者の理解と同意を得た者。 自己推薦入試受験者は、次の【自己推薦入試の基準】を満たすこと。 (注)単願受験者は、本校を第一志望とし、合格した場合必ず本校に入学すること。		
自己推薦入試の基準	出願資格に加え本校を第一志望とし、次の3つの条件を満たす者。 ①5年次(学年末)と6年次(1学期または前期)の欠席日数の合計が、14日以内であること。(ただし病気・怪我による入院等は除く。) ②5年次(学年末)と6年次(1学期または前期)の国語・算数・理科・社会の評定がすべて2以上であること。 ③欠席日数・評定の認定を本校で行われる「入試説明会」の個別相談で受けていること。		
提出書類[郵送]	【自己推薦入試】・自己推薦書(本校指定用紙)　【英語入試】・英語に関する資格証等のコピー(有資格者のみ) 【すべての入試】・志願票		
	郵送先:〒328-8588　栃木市平井町608番地　國學院大學栃木中学校入試広報室　宛(簡易書留)		
受験料	18,000円(再受験は、10,000円)		
出願期間・書類提出期間	令和4年11月 1日(火) ～11月21日(月)(必着)	令和4年11月27日(日) ～12月 5日(月)(必着)	令和4年12月11日(日) ～令和5年1月17日(火)(必着)
試験科目 試験時間 配点	【自己推薦入試】(第1・2・3回) 国語基礎(50分・100点) 算数基礎(50分・100点) 面接(受験者のみ) 【英語入試】(第2回) 国語基礎(50分・100点) 算数基礎(50分・100点) 英語(50分・100点) ※英語の得点を2倍し、計400点満点で合否を判定します。 面接(受験者のみ) 【一般入試】(第1・2・3回) [2科入試] 国語・算数(各50分・各100点) 面接(受験者のみ) [4科入試] 国語・算数(各50分・各100点) 理科・社会(合計50分・各50点) 面接(受験者のみ) 【適性検査入試】(第2回) 適性検査(50分・100点) 作文(50分・500～600文字・50点) 面接(受験者のみ)		
合否発表(インターネット)	令和4年11月26日(土)21:00 合格者には手続用書類を送付します。	令和4年12月10日(土)21:00 合格者には手続用書類を送付します。	令和5年1月21日(土)21:00 合格者には手続用書類を送付します。
入学手続 入学金	180,000円		
入学手続 納入期限 単願合格者	令和4年12月5日(月)	令和4年12月19日(月)	令和5年1月30日(月)
入学手続 納入期限 併願合格者	令和5年2月10日(金)		
入学手続 納入方法	銀行振込・クレジットカード支払・コンビニエンスストア支払		
入学手続 注意事項	上記の期限までに手続きを完了しない場合は、入学を辞退したものと見なします。納入された費用は返金できません。		
入学予定者ガイダンス	入学予定者ガイダンスを、次の日程で行います。2回とも保護者同伴で必ず出席してください。 第1回　令和5年2月11日(土・祝) 第2回　令和5年3月4日(土) ◎入学手続金納入確認のため、2月11日(土・祝)に実施する第1回入学予定者ガイダンス当日に、振込金領収書(銀行受付印があるもの)を持参してください。(銀行振込のみ)		

出願までの注意事項

● 出願方法

① インターネットからの出願です。
② 本校ホームページにあるバナーから出願サイトに移動し、期限内に出願してください。
③ メールアドレスをIDとして登録してください（令和4年11月1日（火）より可）
※各行事参加申し込みのために、ID、パスワードをすでにお持ちの方はそちらをご利用ください。
④ 入学試験日、入試の種類、受験料の支払い方法を選択し、期間内に入力して受験料をお支払いください。
※出願のための校内対応日（要予約）
令和4年11月19日（土）、12月3日（土）、令和5年1月14日（土）

インターネット出願手続きの方法

①本校ホームページ ▶ **②出願サイト** ▶ **③ID(メールアドレス)・パスワード登録** ▶ **④出願情報入力** ▶

令和4年11月1日(火)より本校ホームページに出願サイトのバナーを設置します。

パソコン・スマートフォン・タブレット端末のいずれかを利用してください。

ID（メールアドレス）・パスワードを登録してください。緊急時に連絡できるアドレスをお願いします。

出願期間内に志願者情報、出願する入試の種類などを入力してください。

⑤受験料の支払い方法選択

クレジットカード支払	コンビニ支払	ペイジー支払

▶ **⑥受験票・志願票・宛名票印刷** ▶ **⑦写真貼付** ▶ **⑧入試当日**

受験料の支払い(出願期間内)は、クレジットカード・コンビニエンスストア・金融機関ATM(ペイジー)を利用してください。本校窓口でのお支払いはできません。なお、お支払いには別途手数料がかかります。

受験料の支払い完了後、支払い完了メールが届き、出願サイトから受験票・志願票・宛名票の印刷が可能になります。ご自宅やコンビニエンスストアなどで印刷(A4サイズ・白色)してください。※受験票は本校からは発送いたしません。

印刷された志願票に志願者の写真(4cm×3cm、白黒・カラーどちらでも可)を貼付してください。なお、出願時に写真データをアップロードし、志願票に印刷することも可能です。

受験票をお持ちの上、試験会場へお越しください。志願票は出願期間内に郵送してください。
※下記参照

※入試内容でご不明な点は本校に、インターネット出願の方法については出願専用サイトコールセンター(サイト上に記載)にお問い合わせください。

● 自己推薦入試志願者のための事前相談

① 自己推薦入試志願者は事前相談を行い、必ず出願資格の認定を受けてください。
② 事前相談は本校で行われる入試説明会で行います。
③ 5年次（学年末）、6年次（1学期または前期）の成績票のコピーを必ずご持参ください。
※志願者、保護者による手書き、自己作成などの文書は不可とします。
④ 入試説明会の日程は当学校案内裏表紙、ホームページをご参照ください。いずれも事前に参加申し込みが必要です。

● 提出書類

宛名票を封筒に貼って、本校入試広報室に簡易書留で郵送してください。（期間内必着）
※宛名票は受験票・志願票とともに印刷されます。

【自己推薦書】※自己推薦入試受験者のみ提出

① 本校指定の自己推薦書を使用してください。
② 志願者本人が、黒の万年筆またはボールペンで記入してください。
③ 体育・芸術・学術等の分野で特筆する活動がある、または英検・漢検等の資格を取得している場合、内容・資格を説明・証明するものをコピー（A4サイズ）して、自己推薦書の下に重ね、左上をホチキスでとめてください。
④ 保護者が内容を確認し、所定欄に自署・捺印してください。

【英検等の資格や成績】※英語入試受験者のみ提出

英語に関する資格を取得している場合、それを証明するものをコピー（A4サイズ）して本校入試広報室に郵送（簡易書留）してください。

【志願票】※すべての受験者が提出

内容と写真の貼付・印刷を確認し、受験票・宛名票と切り離して本校入試広報室に郵送（簡易書留）してください。

入学試験当日の注意事項

1.試験会場	國學院大學栃木学園教育センター（栃木駅前）　〒328-0043 栃木市境町22-30　TEL 0282-20-6006 ※駐車場はありませんので、公共交通機関または駅周辺のコインパーキングをご利用ください。
2.集合時刻	受験者は午前9時00分までに集合し、指定の座席に着席してください。（座席は当日指示いたします。）
3.試験時間	［自己推薦入試受験者］ 受験上の注意　9:00～ 9:10 国 語 基 礎　9:15～10:05 算 数 基 礎　10:20～11:10 面接上の注意　11:20～11:30 面　　接　11:30～ ［2科入試受験者］ 受験上の注意　9:00～ 9:10 国　　語　9:15～10:05 算　　数　10:20～11:10 面接上の注意　11:20～11:30 面　　接　11:30～ ［適性検査入試受験者］ 受験上の注意　9:00～ 9:10 適 性 検 査　9:15～10:05 作　　文　10:20～11:10 面接上の注意　11:20～11:30 面　　接　11:30～ ［英語入試受験者］ 受験上の注意　9:00～ 9:10 国 語 基 礎　9:15～10:05 算 数 基 礎　10:20～11:10 英　　語　11:25～12:15 昼　　食　12:15～12:50 面接上の注意　12:50～13:00 面　　接　13:00～ ［4科入試受験者］ 受験上の注意　9:00～ 9:10 国　　語　9:15～10:05 算　　数　10:20～11:10 理科・社会　11:25～12:15 昼　　食　12:15～12:50 面接上の注意　12:50～13:00 面　　接　13:00～ ※面接は個人面接で行います。 ※遅刻者は、試験開始後25分まで入場を認めますが、試験終了時刻は変わりません。
4.受験者の持ち物	①受験票 ②筆記用具（HBの鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム） ※三角定規、分度器、コンパスは必要ありません。 ③腕時計（計算機能付のものやスマートフォン、携帯電話は不可）※試験会場に時計はありません。 ④昼食（受験者は、保護者とは別に試験会場で昼食をとります。） ※自己推薦入試・一般入試（2科）・適性検査入試受験者は、昼食を持参する必要はありません。
5.非常時における連絡	試験開始時刻などを変更する場合は、本校ホームページにてお知らせするほか、登録されたメールアドレスに連絡します。
6.その他	付添者の控室を学園教育センター内に用意します。

合否判定

① 自己推薦入試においては、学力試験と自己推薦書・面接を総合的に判断します。
② 一般入試（4科）においては、国語・算数の2科の判定も行います。
③ 英語入試は、英語の得点を2倍に換算し、計400点満点で合否を判断します。
④ 一般入試・英語入試・適性検査入試において学業成績が極めて優秀な合格者は奨学生合格となります。
⑤ 再受験者は、本校への入学意志が強いものと判断し、2回目以降の合否判定において配慮されます。

入学手続き

合格者には、手続用書類を郵送します。入学手続き締切日が日程や種類により異なりますので、十分注意の上、手続き期間内に入学金180,000円を所定の方法に従って納入してください。なお、入学手続きを完了していない場合は、入学を辞退したものと見なします。また、納入された費用は返金できません。

個人情報保護について

本学の入学試験にあたってご提供いただいた氏名、住所等の個人情報は、本校入学試験およびこれらに付随する業務以外の目的には使用いたしません。

氏名に外字を使用している場合の取り扱いについて

受験者への通知においては、JIS（日本工業規格）第2水準までの漢字を使用し、それ以外の文字（いわゆる外字等）については、JIS第2水準までの漢字に置き換えるか、カタカナ等で表記する場合があります。

國學院大學栃木中学校 令和5年度 入学試験情報

第1回から第3回のすべての入試を、栃木駅前の学園教育センターで実施します。また、次の4つの受験型「自己推薦入試」「一般入試」「英語入試」「適性検査入試」から選べます。その中で一般入試・英語入試・適性検査入試においては学業成績が特に優れている者に奨学生の資格が付与されます。

自己推薦入試（単願）

国語基礎

50分／100点

出題内容

1）長文読解1題・韻文1題・国語知識1題の大問が3題
2）長文は主題把握を中心に、接続語や文中での語句の意味、指示語など、文脈理解に関わることが中心
3）韻文は鑑賞問題のほか、表現方法も毎年出題
4）国語知識
　・漢字　・語句　・ことわざ　・文法　・文学史　・国語一般知識
　○小学校6年生までの教科書に出てきた漢字の読み書き
　○熟語の構成・同義語・反対語・使い方など
　○ことわざの意味・使い方
　○文の構成（主語述語・修飾語・接続語など）
　○敬語表現
　○上代から現代の著名な作品（作品名・作者名・成立年代・冒頭文など）
　○干支・季語・旧暦異名・旧国名・手紙の書き方・外来語、などの国語知識
　○国語辞典、漢和辞典の引き方

ねらい

長文、韻文、国語知識問題の大問3題です。長文は、いわゆる「説明的文章」と呼ばれる種類の文章で、2000字程度のものです。文章の内容を問う問題が主ですが、それに付随する接続語、漢字や単語の意味、文法なども問います。韻文は、詩・短歌・俳句から出題します。基本的な表現方法はもちろん、韻文の鑑賞が主です。国語知識問題は、5、6年生で学習する漢字の読み書き、文法事項、ことわざ慣用表現の意味や使い方、敬語表現、辞書の引き方など、幅広く出題します。また文章の要点を押さえてまとめるという問題も出題予定です。国語の入試対策の標準程度の問題集を解いておくことをおすすめします。

算数基礎

50分／100点

出題内容

1）小学校5年生、6年生の教科書を中心に出題
2）大問は3題
3）大問1は25問の計算問題（基礎である計算力をはかる）
4）大問2は5問の穴埋め問題（単位変換・割合・計算途中について）
5）大問3は図形（角度・長さ・面積・体積）について文章題を10問

ねらい

小学校における学習の理解度をはかる試験です。大問1の25題の計算問題は、小学校4年生からの基本的な計算力と工夫して計算をする能力を求めています。大問2の5題の穴埋め問題は、四則計算の仕組み、単位変換、割合、文字の利用等の理解力を求めています。大問3の10題は、小学校5、6年に学習した図形問題8題と文章題2題で構成されています。どの問題も、教科書に出題されている『力をつけよう』、『まとめの問題』に準じる問題です。小学校のまとめの問題集を解くことで力をつけてください。

英語入試（単願・併願）〈第2回入試のみ〉

英　語

50分／100点

出題内容

1）大問8題（リスニング含む）
2）筆記・リスニングともに英検4・3級の問題パターン
3）文法・会話文の穴埋め
4）英文の並べかえ
5）長文の内容読解（3パターン）
　○4つの選択肢

ねらい

配点はリスニング30点、筆記70点です。リスニングは対話を聞き、その内容に関する質問の答えを選ぶ問題で、放送文はそれぞれ2度ずつ読まれます。放送文が読まれる前に事前に選択肢にさっと目を通しておくと、質問内容をある程度予想でき、聞き取りが楽になります。短文の語句空所補充問題は大きく分けて「品詞」「熟語」「文法」の3種類です。会話文の文空所補充問題は対話形式で「質問文の選択」と「質問への解答問題」です。語句整序問題は 日本文に合わせて語句を並べかえて、「熟語」や「文法」を含んだ英文を完成させる問題です。長文は掲示・お知らせ、Eメール・手紙、説明文とさまざまな形式で出題し、内容に関する質問に答える問題です。語彙力に加え、長文を1文ずつ丁寧に読む力が求められます。

※試験科目の「国語基礎」「算数基礎」は、「自己推薦入試」と同様です。

一般入試（単願・併願）

国　語
50分／100点

出題内容

1）長文読解2題・韻文1題・国語知識1題の大問が4題
2）長文は主題把握を中心に、接続語や文中での語句の意味、指示語など、文脈理解に関わることが中心
3）韻文は鑑賞問題の他、表現方法も毎年出題
4）国語知識は、漢字・語句・四字熟語・ことわざ・慣用句・文法・文学史など、幅広く出題

ねらい

長文2題、韻文、国語知識問題の大問4題です。長文は、いわゆる「説明的文章」と「文学的文章」と呼ばれる種類の文章で、それぞれ2000字程度のものです。文章の内容を問う問題が主ですが、それに付随する接続語、漢字や単語の意味、文法なども問います。韻文は、詩・短歌・俳句から出題します。基本的な表現方法はもちろん、韻文の鑑賞が主です。国語知識問題は、5、6年生で学習する漢字の読み書き、文法事項、ことわざ慣用表現の意味や使い方、敬語表現、辞書の引き方など、幅広く出題します。また文章の要点を押さえてまとめるという問題も出題予定です。50分で長文2題を含む問題を解くためには、国語の入試対策の標準程度の問題集などで時間を確認しながらの練習をおすすめします。

算　数
50分／100点

出題内容

1）小学校5年生、6年生の教科書を中心に出題
2）大問は5題
3）大問1は10問の計算問題（基礎～標準レベル）
4）大問2は3問の穴埋め問題（単位変換・割合・計算途中について）
5）大問3は図形（角度・長さ・面積・体積）2問、文章題8問（標準レベル）
6）大問4・大問5は、文章題をそれぞれ1問ずつ記述形式で出題
以上の文章題は、つるかめ算、旅人算、平均算、年齢算などの特殊算
※特殊算は、基本的な出題形式が中心で、解答方法を覚え、計算力を高めれば十分に解答できます。

ねらい

大問1は25題中10題、大問2は5題中3題が自己推薦入試の算数基礎との共通問題です。大問3は、図形問題8題中2題、文章題2題が共通問題です。残り6題と大問4、大問5の8題は、中学受験の特珠算と呼ばれる文章題です。その中で大問4・大問5の2題は、途中の考えたことを加点する記述形式です。どの問題も基本のタイプですから、中学受験用標準問題集を1冊しっかりと学習して受験に臨んでください。

理　科
社会と併せて
50分／50点

出題内容

1）「物質」・「エネルギー」・「生命」・「地球」の各分野をそれぞれ均等に出題、大問は4題
2）教科書を中心とした基本・標準問題を7割程度、応用・発展問題を3割程度出題

ねらい

各分野で教科書を中心とした基本的な内容と、発展・思考的な内容を出題します。発展・思考的な内容として、グラフや表から実験結果を読み取ったり、写真や図から推察する問題、あるいは自然現象を正しく説明したり、グラフや図を正確に書く問題を出題します。教科書や理科の参考資料を何度も読み返し、実際に目で見たり実験器具を使って自分で試したりしながら対策をしてください。

社　会
理科と併せて
50分／50点

出題内容

1）地理（大問2題）・歴史（大問1題）・公民（大問1題）の各分野から出題
2）地理は日本と世界に関するもの（自然・産業）
3）歴史の範囲は原始から現代までの幅広い時代から出題
4）公民は日本の政治が中心となり、環境・経済などの領域からも出題
5）7割が教科書を中心とした基礎・標準問題、3割が発展問題

ねらい

地理・歴史・公民分野から出題され、配点は地理・歴史が20点ずつ、公民は10点の50点満点で構成されます。グラフや図、写真などから基本的な知識を問います。設問の7割から8割が記号選択、残りは用語記入です。地理は日本の国土について自然や産業、都道府県の特徴を問います。外国地理は各地域の代表的な国々について問います。歴史は古代から現代まで、文章や写真をもとにした出題です。政治史を中心に幅広く知識を問います。公民は憲法に関する問題を中心に、行政・立法・司法について問いますが、時事問題も出題を予定しています。なお、用語は漢字の記入を求めていますので、正しく記入できるように練習してください。

適性検査入試（単願・併願）〈第2回入試のみ〉

適性検査
50分／100点

出題内容

小学校の教育課程に基づいた課題解決能力（資料を読み解く力・筋道を立てて考える力・教科知識の活用力）、思考力や表現力など、日常の学習によって身につけた総合的な力を問います。

ねらい

大問4題です。「資料を読み解く力」については、表やグラフ等からわかることを答え、その内容について自分の考えを説明します。「筋道を立てて考える力」については、与えられた問題文や資料等から条件を読み取り、何が求められているかをつかんだ上で、論理的な考え方を求めます。「教科知識の活用力」は、小学校で学習した内容が理解できていることを前提とし、教科横断型の設問が設けられます。「日常生活での問題解決力」は、他人の立場や考え方を理解し、問題を克服するためにどうしたらよいのかを考える力を試します。

作　文
50分／
500～600文字／
50点

出題内容

課題や資料などに対して、自分の考えや意見をまとめ、筋道を立てて的確に文章で表現する力などを問います。

ねらい

適性検査の[出題内容]もふまえて、与えられた文章や資料をもとに、条件に従って自分の考えを論理的に意見文として表現します。

面接
すべての入試で面接が行われます

10分程度／受験者のみ／面接担当者2名

必須質問事項　**本校志望の理由／6年間の抱負と将来の目標／小学校で最も努力したこと／家庭の教育方針／本校の志望順位**

令和5年度募集行事

一日体験学習会　6月11日(土)　場所／本校キャンパス　時間／9:30～12:00　要予約 インターネットにてお申し込みください。
国語・数学・英語・社会の特別授業が体験できます。

サイエンスセミナー　6月25日(土) 場所／本校キャンパス　時間／9:30～12:00　要予約 インターネットにてお申し込みください。
楽しい理科の実験・観察を行います。

Come on in 国学院〈中学高校同時開催〉　7月24日(日)　7月30日(土)　7月31日(日) 場所／本校キャンパス　時間／9:00～12:30　要予約 インターネットにてお申し込みください。
生徒による学校生活・部活動の紹介や楽しい講座を実施します。

オープンスクール〈授業参観・一般公開授業〉　10月15日(土)　場所／本校キャンパス　時間／10:00～12:00　要予約 インターネットにてお申し込みください。
授業の様子をご覧ください。

國學院祭　【文化祭】9月10日(土) 9:30～16:00　9月11日(日) 9:00～15:30
【体育祭】9月17日(土) 8:45～16:00　場所／本校キャンパス　予約不要

文化祭の2日間、学校生活や入試についての相談も受けつけます。

入試説明会　7月9日(土)　8月21日(日)　9月3日(土)　9月23日(金・祝)　10月8日(土)　10月29日(土)　11月5日(土)
場所／本校キャンパス　時間／ 10:00～　要予約 インターネットにてお申し込みください。※10月29日は場所を学園教育センターとし、開始は14:00です。※11月5日は個別相談のみ。

入学試験日

第1回入試	第2回入試	第3回入試
11月26日(土)	12月10日(土)	1月21日(土)

場所／学園教育センター(栃木駅前)
入試方法／自己推薦入試(単願)　一般入試(2科・4科 単願・併願)
英語入試(単願・併願 第2回のみ)　適性検査入試(単願・併願 第2回のみ)
※一般入試・英語入試・適性検査入試の学業成績が特に優れている合格者は、奨学生となります。

ACCESS info.

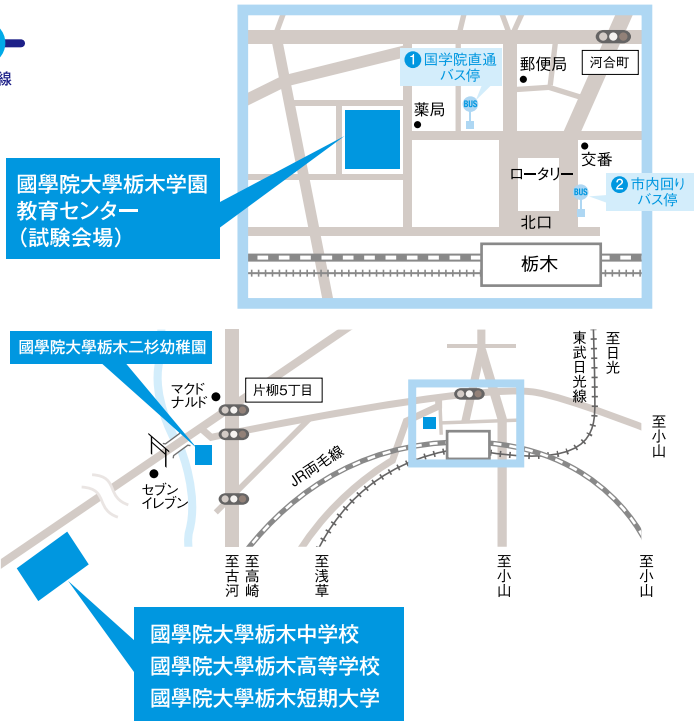
■電車案内

数字は栃木駅までのおおよその所要時間(分)です。

■バス案内

栃木駅北口から「国学院行き」のバス(関東バス)をご利用ください。

1. 国学院直通　約8分
2. 市内回り　約13分



國學院大學栃木中学校

〒328-8588 栃木県栃木市平井町608番地 TEL.0282-22-5511(代表)　0282-25-5020(入試広報室)
https://kokugakuintochigi.jp　FAX.0282-25-0441(入試広報室)